

Press Release

2024年2月14日

SUSE ソフトウェアソリューションズジャパン株式会社

SUSE、通信事業者のネットワーク最新化を支援する適応型プラットフォームの機能を強化

- SUSE Adaptive Telco Infrastructure Platform (ATIP) 3.0 により、通信事業者はオープンソースのメリットを活用し、エッジでのイノベーションと新しいアプリケーションの構築が可能に
- 通信事業者向けに最適化され、TCO の削減と将来性のあるネットワークインフラの構築を支援する本製品により、パートナーはメリットを享受できます

ルクセンブルク - 2024年2月14日 - SUSE Linux Enterprise、Rancher、NeuVector などのソリューションを提供する [SUSE®](#) は本日、お客様が迅速な市場投入を実現し、将来性のあるネットワーク構築を実現する、通信事業者向けクラウドプラットフォーム SUSE ATIP 3.0 の最新版を発表しました。これは、SUSE が通信事業者と協業し、Ericsson や Huawei などの Tier-1 ネットワーク機器プロバイダー（NEP）の主要サプライヤーとして培ってきた豊富な経験に基づき開発されたものです。

通信事業者向けに開発された SUSE ATIP 3.0 は、よりシンプルで柔軟なゼロタッチデプロイメントと管理を提供します。SUSE ATIP 3.0 は、簡単に GitOps に対応する大規模運用の新たな基準を打ち出すとともに、プラットフォームに新たな高付加価値の機能を提供します。また、キャリアグレードのハードウェアと通信事業者向けの構成及びワークロードに向けて、継続的に品質保証がされます。

「テレコム市場は変革期を迎えています。SUSE ATIP はキャリア向けに高い適応性を持つプラットフォームとして、お客様から高評価をいただいています。5G パケットコア、クラウド無線アクセスネットワーク（RAN）、Fiber to The Home/Fiber to the building など、モバイルネットワークと固定ネットワークの幅広いユースケースで採用が進んでいます」と、SUSE の最高技術・製品責任者（CTO）である Thomas Di Giacomo は述べています。

SUSE ATIP 3.0 は、欧州最大の 5 つの通信事業者である Deutsche Telekom、Orange、Telecom Italia、Telefonica、Vodafone、および Ericsson、Nokia によって設立された Linux Foundation Europe の [Project Sylva](#) と密接に連携して共同開発された初の商用利用可能な通信用クラウドスタックです。

「Project Sylva は、通信事業者向けオープンソース・クラウド・スタックの相互運用性を高めるといった喫緊のニーズに対応するものです。現在、技術的な多様性が元でさまざまなスタック間で問題が生じており、エコシステム全体の動きを鈍くしています」と Orange で VP Telco Cloud Infrastructure を務める Stephane Demartis 氏は話します。「SUSE は本プロジェクトの重要なコントリビューターであり、スポンサーでもあります。SUSE ATIP が商用サポートとして提供されることで、Sylva を、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域（EMEA）の関連会社に展開されている当社独



自の水平型通信事業者向けクラウドスタックである Orange Telco Cloud に統合することが非常に容易になります」

さらに、SUSE ATIP 3.0 によって通信事業者は次のことが可能になります：

- **キャリアグレードの Kubernetes クラスタを使用して、5G Packet Core や Cloud RAN などのクラウド・ネイティブ・ネットワーク機能（CNF）を大規模に展開。** SUSE ATIP 3.0 は、Kubernetes クラスタとその基盤となるベアメタルまたはプライベート・クラウド・インフラストラクチャの自動ゼロタッチ・ロール・アウトとライフサイクル管理を特徴としています。
- **CNCF Cluster API に基づく SUSE ATIP のベンダーニュートラルなインテグレーションポイントにより、インテグレーションへの投資を保護し、運用コストを抑え、柔軟なプラットフォーム戦略を維持**できます。通信事業者は、クラスタ API を採用することで、市場の他のソリューションでよく見られる隠れたロックインを回避しながら、デイスアグリゲーションから多大な価値を引き出すことができます。
- **通信エッジ向けに最適化された、より小さなフットプリントのコンポーネントでハードウェアをより効率的に利用することで、エネルギー効率を高める**ことができます。SUSE は、Linux Foundation Europe による Project Sylva の主要メンバーとして、全体的な二酸化炭素排出量のモニタリングと最適化を通じて、ネットゼロネットワークのためのオープンフレームワークを構築するオープンソースコミュニティに大きく貢献しています。
- **Kubevirt との統合により、VM をコンテナと並行して実行**できます。コンテナと Kubernetes はネットワーク機能の仮想化（NFV）の未来像として広く受け入れられているため、Kubernetes ネイティブの一貫したオーケストレーションアプローチを提供することで、通信事業者はこれまでの仮想マシン中心の通信事業者向けクラウドインフラを近代化してコンテナを実行できるようになります。
- **RAN の展開にかかる初期投資（CAPEX）を削減**し、特定の RAN ソフトウェアと管理ソリューションのニーズをサポートするために、キャリアグレードの Kubernetes と Linux スタックを提供します。これにより、スタックを大規模にデプロイおよび管理できます。

SUSE は Open RAN プラットフォームにとらわれないソリューションのリーディングプロバイダーである [Parallel Wireless 社と Open RAN の分野で提携](#)しています。この提携は、ATIP を同社のエコシステムに統合し、ハードウェアに依存しない世界初の ORAN スタックを実現することを目的としています。これにより、Parallel Wireless 社のエネルギー効率に優れた GreenRAN™ソリューションが柔軟にデータを管理、最適化、安全に処理できるようになるとともに、サービス事業者の TCO を大幅に削減できるようになります。

SUSE ATIP は、第 4 世代 Intel® Xeon® スケーラブルプロセッサ搭載の Intel® FlexRAN™ で検証済みです。

SUSE ATIP 3.0 は、2024 年 4 月に一般提供を開始する予定です。Mobile World Congress の SUSE エキスパートとのミーティングをご希望の方は、[こちら](#)をご覧ください。ホール 5 のブース 5K6 にお立ち寄りください。詳細については、リンクをご確認ください。<https://www.suse.com/sector/telco/>



SUSE について

SUSE は、SUSE Linux Enterprise (SLE) 、Rancher、NeuVector をはじめとする、革新的で信頼性と安全性の高いエンタープライズオープンソースソリューションのグローバルリーダーです。Fortune 500 企業の 60%以上が SUSE を利用してミッションクリティカルなワークロードを実行しており、データセンターからクラウド、エッジ、そしてその先に至るまで、あらゆる場所でのイノベーションを可能にしています。SUSE は、オープンソースに "オープン "を戻し、パートナーやコミュニティと協力して、お客様がイノベーションの課題に取り組むためのアジリティと、戦略やソリューションを進化させる自由を提供します。詳細については、<http://www.suse.com/>をご確認ください。

